

京都市立芸術大学主催

拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業

状況のアーキテクチャー

講  
料  
無  
料

公開講座

# まねびの環世界

京都国立近代美術館・講堂

講師

森村泰昌

(美術家)

×

細馬宏通

(滋賀県立大学教授)

聞き手・高橋悟

(京都市立芸術大学教授)

入場無料

どなたでも参加できます  
事前申し込み不要

10月16日(日)13:00より

[www.kcua.ac.jp/art=m](http://www.kcua.ac.jp/art=m)

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts



主催 | 公立大学法人 京都市立芸術大学  
助成 | 平成28年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

拡張された場におけるアートマネジメント人材育成事業

状況のアーキテクチャ

# 公開講座

# まねびの環世界

10月16日(日)13:00より開演  
京都国立近代美術館・講堂

## 講師プロフィール

### 森村泰昌 (美術家)

1951年大阪市生まれ。京都市立芸術大学卒業、同大学美術学部専攻科終了。1985年、ゴッホの自画像に自らが扮して撮影するセルフポートレイト手法による大型カラー写真を発表。1988年、ベネチアビエンナーレ/アベルト部門に選ばれ、以降、国内外での個展、国際展に多数出品。2014年、「横浜トリエンナーレ2014」の芸術監督。今年(2016年)、大阪の国立国際美術館で、個展『自画像の美術史:「わたし」と「私」が会うとき』を開催。近著に『美術、応答せよ』(筑摩書房)、『たいせつなわすれもの』(平凡社)など。



### 細馬宏通 (滋賀県立大学教授)

1960年西宮市生まれ。京都大学大学院で動物行動学を学んだのち、人間行動の研究に転じ、現在滋賀県立大学人間文化学部教授。日常生活での声と身体の間関係についてさまざまなフィールドで研究を行っている。また、19世紀以降の視聴覚文化、メディア史にも関心を寄せている。著書に『介護するからだ』(医学書院)、『うたのしくみ』(ぴあ)、『ミッキーはなぜ口笛を吹くのか』(新潮選書)、『浅草十二階』『絵はがきの時代』(青土社)など。



## 入場無料

どなたでも参加できます  
事前申し込み不要

気鋭の行為分析学者は、  
イメージ、身体、歴史が

異才モリムラの  
相互作用するスリリングな  
変幻術に接近できるだろうか?

高橋悟(聞き手)・京都市立芸術大学教授

どなたでも参加できます  
事前申し込み不要

## 会場へのアクセス

### 京都国立近代美術館

- 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
- 地下鉄東西線「東山駅」より徒歩10分
- 各駅より市バスで乗車、「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- JR京都駅前(A1のりば)より5系統
- JR京都駅前(D1のりば)より100系統(急行)
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅より5系統
- 阪急烏丸駅・河原町駅、京阪祇園四条駅より46系統
- 市バス他系統ご利用の方
- 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車 徒歩5分
- 「東山二条・岡崎公園口」下車 徒歩10分

### お問い合わせ先

Eメール: art-m@kcuu.ac.jp  
電話: 075-334-2006(京都市立芸術大学・教務学生課)

